

京都から発泡技術の パイオニアとして 「京フォーム®」を世界へ



Kyoto's pioneer foaming technology
bubbles the World. Since 1965



「京フォーム®」は三和化工株式会社の登録商標です。

小誌の題名である『京FOAM』は、当社発祥の地、
京都を意識して商標登録している「京フォーム®」からきたものです。
当社が発泡体のパイオニアとして長年作り続けている発泡体が、
世界の京都を代表する Made in Kyoto の発泡体の総称として
親しんでいただけるようにしていきたいと考えています。

【本社】〒601-8103 京都府京都市南区上鳥羽仏現寺町56番地
TEL: 075-671-5430 FAX: 075-671-4495

【関東支店】〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目20番17号 押谷ビル5F
TEL: 03-3567-0531 FAX: 03-3567-0535

【九州出張所】〒819-0015 福岡県福岡市西区愛宕2-16-24
愛宕レジデンス502号 TEL: 092-836-6551 FAX: 092-836-6552

【福井工場】〒910-3138 福井県福井市石新保町第28号67番地の1
TEL: 0776-85-1806 FAX: 0776-85-1678

【常州三和塑胶有限公司】
江苏省常州市武进高新区凤鸣路22号
TEL: +86-(0)519-8622-6500 FAX: +86-(0)519-8622-6511

【関西支店】〒601-8103 京都府京都市南区上鳥羽仏現寺町56番地
TEL: 075-671-5200 FAX: 075-671-5133

【中部営業所】〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-12-5 (竹生ビル別館)
TEL: 052-561-4068 FAX: 052-561-4790

【生野工場】〒679-3311 兵庫県朝来市生野町真弓373の66
TEL: 079-679-4405 FAX: 079-679-4406

【石岡工場】〒315-8539 茨城県石岡市柏原4番4
TEL: 0299-23-6631 FAX: 0299-23-9867

【SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD.】
Road N3-2, Long Duc Industrial Park, Long Duc Ward,
Long Thanh District, Dong Nai Province
TEL: +84-(0)251-368-6391 FAX: +84-(0)251-368-6393



「令和」の時代

次世代への事業承継が今後の鍵をにぎる

三和化工株式会社
代表取締役社長
吉田典生

Norio Yoshida



この原稿を執筆しているのは梅雨の季節ですが、これから迎える夏が、冷夏か猛暑か、仕事上で天候を気にされている方はたくさんおられると思いますが、今年はどうなるでしょう。ちなみに、当社はエアコンや冷蔵庫の部品にポリエチレンやゴムの発泡体を使用されているために、猛暑の方が受注が増える傾向にあります。しかし、エアコンメーカー各社の情報によると、今年も冷夏だと伺っています。いずれにしても地球温暖化の影響で、今夏もゲリラ豪雨による災害には注意が必要でしょう。

「平成から令和へ」

2019年5月1日に元号が「令和」と改元され、徳仁天皇陛下と雅子皇后陛下がご即位された様子をテレビで拝見し、改めて特別な存在だと感じた次第です。そして、明仁上皇陛下の天皇家承継への深慮に気づかされた思いです。

さて、平成は30年と4ヶ月経きました。当社にとって平成とはどんな時代であったのかということ振り返ってみたいと思います。1989（平成元年）年9月第24期の決算は、売上高3,297百万円、正社員93名、本社工場は京都府久世郡久御山町にありました。同年12月、株主総会において、私は取締役営業本部長から常務取締役営業本部長に任命されました。その後、業績は下降し、第27期から第29期までの3年間で大きな赤字を積み上げ、金融機関から厳しい管理をされていました。その後、久御山町の本社工場を売却することができて、業績回復と借入金返済が進み、現在の京都市南区上鳥羽に本社を移転しました。2018（平成30）年9月第54期の決算は、売上高5,487百万円、正社員136名となり、「平成」はまさに私が事業承継をしてきた時代だと思います。

今年5月、私の元に営業業務の再雇用で70歳を迎えた社員が退職の挨拶に来ました。当社員は、入社以来47年の永きにわたり、尽力していただきました。今後は、当社OB会長として年に一度は顔を合わせることにしたいと思います。国は60歳から65歳、66歳から70歳と再雇用の延長を企業に求めています。しかし、この方のように「やる気、能力、健康」が揃ってうまく仕事ができるのは、稀なことだと思います。次に続く人には、是非とも見習ってほしいと思います。

そして、これから5年先、10年先の「令和」の時代は、次の世代への事業承継が当社にとって大変重要なことだと認識しています。

平成の後半にさしかかると、「少子高齢化」「人手不足」「外国人労働者」「働き方改革」「人生100年時代」などの、人に関わる日本社会の問題点が浮き彫りになってきました。当社でも、SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD. (SKV)

の設立を契機に、2018年から、外国人技能実習制度を活用し、当社と実習生ともに制度の恩恵を享受することができており、「Win-Winの関係」だと思っています。

また、福井工業大学を今年卒業したベトナム人留学生を採用することができました。これらの制度、採用の仕組みを活用し、今後当社の力に変えていけるようにしていきたいと考えています。

1989（平成元）年11月9日にベルリンの壁が崩壊して、東西の冷戦は事実上終戦しました。30年前は世界中の人々がベルリンの壁の崩壊を祝い、喜びました。それから30年後の現在、GDPで日本を抜いて世界第2位になった中国は、「一帯一路」で権益を広げ、遂には米国との貿易戦争に突入しようとしています。その結果は「令和」でわかります。こうして振り返ってみると、「平成」は「昭和」の遺産を使い、「令和」は「平成」の負の遺産を引き継ぐように見えてきますが、いかがでしょうか。

「海外の変化」

当社の合弁会社常州三和塑胶有限公司の董事会（取締役会）を香港とマカオで行いました。香港が中国に返還される前

vol.5	□ ごあいさつ／三和化工株式会社 代表取締役社長 吉田典生	02
CONTENTS	□ グループ会社紹介／常州三和塑胶有限公司紹介	04
	□ 特集／InterPlas Thailand 2019 タイ展示会	06
	□ 新製品／SANWA NEW PRODUCT INFORMATION	08
	□ 連載／京都探索(4) 京都四條 南座	10
	□ 連載／知になる法律(5) 商標「京フォーム」について	12
	□ 会社紹介／押谷フェルト化成株式会社	14
	□ 三和NEWS／編集後記	15



マダムタッソー蠟人形館 香港
ミシェル・ヨー



マダムタッソー蠟人形館 ロンドン
ニコール・キッドマン

に、善合国際実業有限公司という商社を当社が所有していたため、当時は年に数回訪問していました。久しぶりに訪問した香港も、マカオでのカジノも、中国本土からの観光客の多さに圧倒されました。昔の感覚で香港をイギリス領、マカオをポルトガル領と思ってしまうのですが、中国そのものでした。香港のビクトリアピークにあるマダムタッソー蠟人形館にも行く機会がありました。この館には、世界的に知名度のある有名人が、蠟人形として展示されています。ハリウッドスターより中国人スターや歌手がメインで、中国人観光客向けのように感じました。過去に、プライベートでイギリスを訪れた際にも、本場のマダムタッソー蠟人形館に行ってきましたが、そこでは、ハリウッドスターやトランプ大統領、習近平主席など馴染みのある人物の蠟人形が数多く展示されていました。

最後になりましたが、これから米中、日米の貿易交渉が大詰めに向かい、10月からの消費増税など経済を取り巻く環境は不透明感を増しています。そのような状況下で、当社は今年9月末の決算で創立55周年を迎えることとなります。これからも、さらに前に向かって挑戦していきますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。



Introducing
CHANGZHOU SANHE PLASTIC RUBBER



押出発泡ライン

常州三和塑胶有限公司 紹介

常州三和塑胶有限公司 総経理 王 轶宙 (日本語対応可)

History

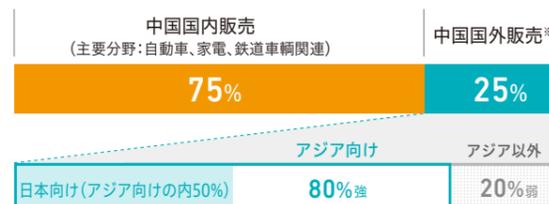
- 1985** (昭和60年) 三和化工株式会社が中国に進出、中国常州市で合弁会社 蘭和塑料化工有限公司を設立
主要製品：独立気泡ポリエチレンフォーム（日本での商品名 サンベルカ）
- 1995** (平成7年) 合弁会社 常州協和塑料化工有限公司と名称変更
主要製品：連続気泡ポリエチレンフォーム（日本での商品名 オプセル）
- 1999** (平成13年) 合弁会社 常州春和橡塑化工有限公司を設立
主要製品：NBR/PVC、EPDM フォーム
- 2001** (平成13年) 常州協和塑料化工有限公司から出た利益を再投資して、常州新協和塑料化工有限公司を設立（実質、常州協和塑料化工有限公司と一体）
- 2005** (平成17年) 常州新協和塑料化工有限公司の社名を常州三和塑胶有限公司に変更
- 2006** (平成18年) 蘭和塑料化工有限公司、常州協和塑料化工有限公司、常州春和橡塑化工有限公司を吸収合併して、今の体制にいたる

常州三和塑胶有限公司（以下「常州三和」）は、敷地面積約37,000㎡、建築面積約24,000㎡、従業員116名で、サンベルカ、オプセル、ニューベルカ、NBR/PVCフォーム（ブロック発泡と長尺発泡）、EPDMフォームなどを生産しています。原板を生産するだけでなく、スライス、粘着、両面テープ貼り合わせ、スリット、打ち抜き（全抜きとハーフカット）、ルーター、ワイヤーカット、プロファイル、熱圧成型などさまざまな加工も行なっています。自社生産していないウレタンフォーム、長尺ポリエチレンフォーム、ゴム板、フェルトなどの素材も外部から購入し、加工販売をしています。

中国国内向けの販売がメインですが、日本、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、インドなど10数ヶ国に輸出しています。



加工品例



*タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポール、アメリカ、インドなど10数ヶ国

近年、中国国内の市場競争が激しく、売上は横ばいですが、輸出は徐々に増えています。特に、東南アジアは毎年30%くらいの伸び率で増えています。中国政府は輸出を増やすために、輸出に対して、税金還付の優遇政策を行なっています。従来、ポリエチレンフォームの場合、税金は売上の17%で、その内13%は還付されていましたが、2018年11月から税金を全額還付されることになりました。したがって、中国国内で販売するよりも、輸出の方が利益を享受することができます。この税金の還付の恩恵を受けている企業は、中国では少なくありません。また、近年日系企業などの外資系企業は、中国から東南アジアに移転する会社が増えています。昨今の米中貿易摩擦の影響もあり、中国企業も東南アジアに移転することが増えています。これから、東南アジアの需要はさらに増えると予想されるため、常州三和は2019年、タイとベトナムの展示会に出展することを決めました。

タイ・バンコク展示会
InterPlas Thailand 2019
2019年6月19日(水)～22日(土)

ベトナム・ホーチミン展示会
VietnamPlas 2019
2019年10月3日(木)～6日(日)

これらの展示会を通じて、常州三和と三和化工株式会社（以下「三和化工」）の製品を東南アジア諸国にアピールします。常州三和の独自製品として、NBR/PVCフォーム（ブロック発泡と長尺発泡）があります。ブロックタイプはUL94 HF-1認証を取得しています。長尺タイプは、独立気泡と連続気泡の2種類があります。独立気泡製品はUL94 V-0認証を取得している高難燃タイプがあります。連続気泡製品は、UL94 HF-1認証だけでなく、EN45545-2:2013認証（欧州の鉄道車輛関係の規格）を取得している高難燃タイプがあります。

表) NBR / PVCフォームの種類

タイプ	製品名	UL登録名	難燃性能
ブロックタイプ	CR-T (2016)	CR2016	UL94 HF-1 認証取得
長尺タイプ	独立気泡	NP-1100NN	UL94 V-0 認証取得
	連続気泡	NP-140NN	UL94 HF-1 認証取得 EN45545-2:2013 認証取得

連続気泡製品の風合いはEPDM半連続気泡製品に近く、難燃性もあります。また価格も低く設定していますので、N社製のEPDM半連続気泡製品の代替として、大手日系複合機メーカーの複写機に採用されています。また、中国国内の自動車、エアコン関係にもEPDM半連続気泡製品の代替に多く採用され、使用量は年々増加しています。

近年、中国のGDPは毎年7%弱で増えていますが、常州三和として、環境規制に伴う投資、人件費の高騰、エネルギー費の負担が大きくなっています。2016年頃より、国から減税の政策がいくつか出されましたが、費用の増加を完全に吸収できない状態です。これからも三和化工の生産、技術、営業の力を借りて、販売力の拡大、品質向上、生産効率をアップし、全力を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。

[常州三和塑胶有限公司] 担当者/王 轶宙
江苏省常州市武进高新区凤鸣路22号 TEL: +86-(0)519-8622-6500 FAX: +86-(0)519-8622-6511

InterPlas

新たな地への挑戦

2019年6月19日(水)～22日(土)、タイ唯一の国際貿易展示会である「InterPlas Thailand 2019」が、^{バイテック}BITEC(展示場)で開催されました。同展示会は、毎年開催されていて、今回常州三和塑胶有限公司(以下「常州三和」)が初出展し、当社もスタッフの一員として常州三和ブースに入り、展示会に参加しました。



「InterPlas Thailand」は、プラスチックと石油化学製品および製造装置をテーマにした展示会であり、17,000名を超えるバイヤーに対し、自動車、エレクトロニクス、パッケージング、建設など、20ヶ国から350社以上の主要メーカーの最新技術を提供するもので、総来場者数は90,000人以上にのびります。各企業の出展には、インジェクション射出成形機、インフレーション成形機の実演や協働ロボット、ドローンなどがあり、さまざまな最新テクノロジーを駆使した製品を目の当たりにすることができました。展示会場は、中国、台湾、シンガポールなど、国によって「Pavilion」として区別され、常州三和は「China Pavilion」区画で展示を行いました。

前ページの「常州三和の紹介」でもあるように、当社では生産していない長尺のゴム系連続気泡発泡体などがあり、常州三和ならではの製品提案に努めました。ブースには、タイ以外に、インド、オーストラリア、マレーシア、インドネシアなど、さまざまな国の方が来訪して下さり、足を止めてじっくりと製品を見ていただき、次に



左)常州三和スタッフ、中央)常州三和 王総経理



Thailand 2019

タイ展示会

つながる出会いがたくさん生まれました。来訪者の多くは、^{かまぼこ}通箱[※]用途のポリエチレンフォーム、電子部品搬送用の導電性および帯電防止フォームに関心があり、実際に打抜品サンプルなどを手にしていただき、具体的な発泡倍率の要望やサンプル依頼、見積依頼などもありました。

日本では当たり前の通箱や電子部品搬送用トレイなども、東南アジア諸国ではまだまだ普及しておらず、ワンウェイ(使い捨て)での梱包材利用が常態化しています。しかし、経済が急速に発展しているタイやベトナムなどにおいては、環境面、コスト面から徐々に通箱の概念が普及し始めています。この波を逃さないためにも、常州三和と協業して、東南アジアでの発泡体の販売活動に、より一層注力していきたいと考えています。

※ 通箱とは企業間、工場間において、製品や半製品を輸送する際に繰り返し使用される箱

2019年10月3日(木)～6日(日)、ベトナムのホーチミンで「VIETNAMPLAS 2019-19th Vietnam International Plastics & Rubber Industry Exhibition」が開催されます。こちらの展示会にも、常州三和が初出展することが決定しています。当社としても、今回のタイ展示会同様にスタッフとして参加をする予定です。引き続き、SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD. (SKV) を起点とした情報収集、および発泡体の販売活動に注力していこうと考えています。

東南アジアにおいて、発泡体を必要とされているお客様がいらっしゃいましたら、常州三和ならびに当社へご連絡をいただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



フードコート



展示会には、数多くのレストランがあり、タイ料理のガバオライスを堪能することもできました。

耐熱、柔軟、無硫黄 ポリエチレン 独立気泡発泡体

サンペルカ T-1500(黒色)

近年、硫黄による硫化腐食についてのご相談を多くいただいています。一般的に、硫黄による硫化腐食は酸化腐食より進行が早いと言われており、金属材料、電子部品の使用条件が過酷になってきている昨今、ますます硫黄による硫化腐食への対策が必要となってきています。

硫黄自体は、さまざまな物質中に存在しています。鉱物や原油にも含まれていて、これらに由来する製品材料にも含まれています。また、ゴム製品は加硫剤として硫黄が用いられている場合が多いため、硫黄はさまざまな製品中に存在しています。

従来、ポリエチレン発泡体は、硫黄加硫をしていないため、ゴム発泡体に比べると硫黄はごくわずかです。しかし、黒色の顔料としてカーボンを使用することがあり、カーボンの不純物である硫黄を含有していました。

このため、原料および配合から見直しを行い、サンペルカ T-1500 (以下「T-1500」) は黒色にも関わらず、硫黄成分を含有していません。公的試験機関での全硫黄の定量分析の結果、不検出(50ppm未満)でした。

次に、物性についてご説明します。

従来、柔軟性に優れた発泡体の基材樹脂は、EVA樹脂や、サンペルカ T-15#2 (以下「T-15#2」) に使用されている特殊なポリエチレン樹脂が使用されてきました。しかし、いずれも柔軟性は良いですが、耐熱性に劣るという欠点がありました。今回、新たな基材樹脂による発泡体を設計することで、柔軟性、耐熱性を両立させました。

■ 柔軟性

T-1500を、ほぼ同じ密度のT-15#2、サンペルカ



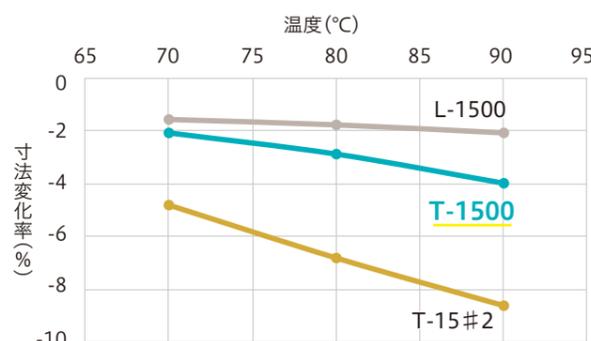
L-1500 (以下「L-1500」) の圧縮応力と比較すると、低密度ポリエチレンのL-1500よりも軟らかく、ゴムに似た風合いをもつT-15#2と同等の軟らかさだとわかります。

表) 圧縮特性の比較 (単位: kPa)

圧縮応力	T-15#2	T-1500	L-1500
10%	35	42	110
25%	60	63	130
50%	125	131	210

■ 耐熱性

T-1500を、T-15#2とL-1500の熱的安定性と比較すると、T-15#2よりも収縮が少なく、L-1500に近い耐熱性を有していることがわかります。



このように、T-1500は組成上無硫黄であり、柔軟性をもちながらも耐熱性を有した発泡体です。

使用用途としては、腐食に対して厳しい要求があり、かつ高温での柔軟性が必要とされるLED内緩衝材などの電子機械分野での展開が考えられます。

高密度ポリエチレン 連続気泡発泡体

オプセル HC-150 スーパーオプセル HC-1501

「京FOAM」vol.1で取り上げた、高密度ポリエチレン(以下「HDPE」)を基材としたオプセル HC-150、スーパーオプセル HC-1501 (難燃グレード) を上市しました。

基材であるHDPEは、従来の製品に使用している低密度ポリエチレン(以下「LDPE」)と比較して、直鎖状のエチレン基が密に集まった構造を有することにより、密度が高くなっているポリエチレンです。その構造から、樹脂の結晶度が高く、機械的強度や耐熱性、耐薬品性に優れています。今回は、これらの利点を活かした発泡体を開発しました。また、近年は難燃性を求められることも多く、このオプセルがさまざまな用途へ展開できるように難燃性を付与したグレードも用意しました。

ここからは、製品の特長をご説明します。

■ 耐熱性

LDPE発泡体と比較して、特に100℃以上の環境下での収縮率に大きな違いが出ており、耐熱性が求められる分野での使用が期待できます。

表) 22時間加温後の寸法変化 (単位: %)

		70℃	100℃	110℃	120℃
HDPE オプセル	HC-150	0.0	-0.2	-0.2	-0.8
	HC-1501	0.0	0.0	-0.2	-1.7
LDPEオプセル		0.0	-4.0	熱変形が大きい ため、測定不可	

■ 耐油性

耐熱分野で使用されることが多いEPDM半連続気泡発泡体と比較して、各種オイルに対して膨潤しないため、耐油性が求められる分野での使用も期待できます。



	未試験	オイル①	オイル②	オイル③
HC-150 (HDPE オプセル)		0%	0.3%	0.5%
EPDM 連続気泡発泡体		6.9%	10.4%	28.3%

オイル①: 潤滑油系オイル オイル②: マシン油系オイル
オイル③: 燃料油系オイル

耐油性の比較

■ 難燃性

自動車内装材料を対象とした燃焼試験規格FMVSS302に、HC-150とHC-1501共に適合します。また、HC-1501はUL94規格のHF-1に適合しています。HDPEオプセルには、環境への負荷が懸念されているハロゲン系難燃剤を使用していないため、幅広い分野に応用できる可能性があります。

■ 加工性

また、HDPEオプセルは、従来のLDPEオプセルと比較して硬いため、加工性が高く、連続気泡製品にも関わらず、ルーター加工が可能です。



ルーター加工例

上記のような特長を有していることから、従来のLDPEオプセルでは使用不可能だった100℃以上での領域、鉄道、自動車部品など、耐熱性と難燃性の両方が求められる分野での使用が考えられます。



京都探索 第1回

Minami-za みなみざ
京都四條 南座

〒605-0075
京都府京都市東山区四條通大和路
西入中之町198



四條大橋の東側にある南座は、歌舞伎の舞台として有名です。
1603（慶長8）年、安土桃山時代の女性芸能者である出雲の阿国が京市中で「かぶき踊り」を踊ったことが歌舞伎の始まりとされています。
その歌舞伎発祥の地である京都には、幕府公認の七つの常設劇場がありました。その内の一つが南座です。各座は、火事で幾度の焼失を経て数を減らし、幕末にはこの南座と北座の二座のみとなりました。その後、北座も四條通りの拡張に伴い、明治時代に廃座となり、南座のみが現在

まで残っています。
毎年11月末から12月末まで行われる、吉例顔見世興行では、歌舞伎役者の名前を勘亭流で書いた「まねき」の白木の看板が正面玄関に並べられ、観光客を楽しませています。
南座は、歌舞伎だけでなく、演劇やコンサートの公演も行なっています。
京都の初夏の風物詩、五花街合同公演「都の賑い」の舞台は、祇園甲部歌舞練場ですが、2019年は耐震工事のため、南座で行われました。
「都の賑い」は、1994（平成6）年、平安建都1200年を記念して開催さ

れたのが始まりで、京都五花街（上七軒、祇園甲部、祇園東、先斗町、宮川町）の芸妓、舞妓およそ80名が各花街の舞を披露します。



祇園甲部歌舞練場

また、5月には、南座新開場記念として、「京都ミライまつり2019」が開催されました。
日本最古の劇場が、最先端テクノロジーを駆使して、未来のお祭りを表現し、最新技術を駆使したデジタル屋台や、おいしいお酒と京都グルメを堪能できる空間に様変わりしました。
夜には、DJによるクラブミュージックが流れ、南座という伝統ある劇場のアレンジに驚嘆された方も多いと思います。

江戸時代から今日まで、南座は大衆に感動を与えるステージとして、この祇園の地に君臨してきました。これ

からもさまざまなエンターテインメントを見せてくれることでしょう。



京都ミライまつり2019の様子

京の街で三和化工
みつけた！



祇園祭ごみゼロ大作戦2019

祇園祭には、毎年国内外から多くの人々が来訪されます。鉦や屋台を楽しむ一方で、従来からゴミのポイ捨てが問題視されました。そこで、2014（平成26）年から「一般社団法人 祇園祭ごみゼロ大作戦」が、ボランティアを募り、清掃活動やごみの分別、リユースに取り組んでいます。今年も、当社も「祇園祭クリーンキャンペーン」に協賛しました。

井筒八ッ橋本舗

京都にあった七つの常設劇場の一つ、「北座」跡の北座ビルにある「井筒八ッ橋本舗」さんは、京都銘菓の老舗として、古くから知られています。
ビルの5階は、資料館になっていて、祇園の町並みなどの写真や資料を見ることができます。
当社は、井筒八ッ橋本舗さんの三笠に社名のロゴを入れていただき、お取引先様にお配りしています。井筒八ッ橋本舗さんの三笠には、小倉あん、抹茶あんの中に生八ッ橋が入っていて、京都らしいとても上品な味です。
祇園にお越しの際は、井筒八ッ橋本舗祇園本店さんにお立ち寄りいただき、八ッ橋、三笠を堪能してみたいでしょうか。

〈本 社〉
〒616-8312 京都市右京区嵯峨野清水町15
TEL：075-861-2121(代) FAX：075-881-2124
〈祇園本店〉
〒605-0079 京都市東山区川端通四條上ル 北座
TEL：075-531-2121 FAX：075-531-2124



はじめに

三和化工株式会社様（以下「同社」）は、発泡体に使用する「京フォーム」や「京FOAM」という商標について複数の商標権を保有されています（登録第5039073号、登録第6064170号など）。

同社は、京都を拠点として国内だけでなく海外にも展開している発泡体の総合メーカーでありますから、商標権により守られた「京フォーム」などの商標は、まさに三和らしさを表現したものであると思えます。

今回は、商標の実務に携わっている弁理士という立場から、同社の登録商標である「京フォーム」やそれに関連することを述べさせていただきます。

ちなみに、「ブランド」という言い方がありますが、基本的に「商標」と同義です。「ブランド」のほうが高級感のある良いイメージが先行しますが惑わされませんように。本稿では、「商標」という表現を優先して使用しています。

商標の策定

「商標」をどうするか決めることは、とても簡単なようにも思えます。しかし、実際には、いろいろなハードルを乗り越えてたどり着けるようなものであり、簡単なことではありません。

商標は、自分の商品やサービスを表す「標識、目印」の役割を果たします。商標というのは会社の「顔」のようなものであるといっても過言ではありません。ですから、商標は、自分にも他人にも良い印象を与

商標「京フォーム」について

赤澤特許事務所
副所長・弁理士 宮澤 岳志
Takeshi Miyazawa

えられる表現や見た目やそれらの前提となる考え方を追求した結果、ようやく決定されることになることが多いのです。

また、事業の安全や他社との差別化のため、商標は、商標登録を受けたものを使用することが望まれます。近年、商標登録を受けようという考え方は広く事業者に浸透してきたようにも思います。つまり、商標を策定する際には、商標登録を受けることができるもの（またはできそうなもの）を選ぶという点にも留意する必要があります。

取りにくい商標とは？

自分も他人も気に入ってくれそうな商標案が決まりました。次は、商標登録出願です。商標登録を受けることができるかどうかは、結局のところ、特許庁において実際に審査されないとわかりません。特許庁に対する商標権を得たいという意志表示が、「商標登録出願」です。

弁理士の商標実務において登場する言葉（あくまでも口語的なもの）に、「取りにくい商標」というものがあります。もう少し正確に言えば、特許庁に商標登録出願をしてもなかなか商標登録を認められないと思われる商標を、「取りにくい商標」と称することがあります。

国が認める「商標権」とは、商標を特定の範囲内において独占的に使用することができる権利です。そのため、商標権を獲得するには、商標登録出願が日本の法律（商標法）に定める登録要件を満たしていなければなりません。実際には、出願人が提出し

た商標登録出願を、特許庁の担当審査官が法的観点から問題がないかどうかを審査いたします。そして、担当審査官が、商標法に定められた登録要件を満たしていることを確認した後に、ようやく出願人は、商標権を手に入れることができ、晴れて商標権者となるのです。

「取りにくい商標」の一例に、「識別力のない商標（商標法第3条）」というものがあります。「識別力」とは自分と他人とを区別することができる力という意味です。「識別力のない商標」とは、誰もが普通に使用するような表現のみからなる商標を指します。その一例として、林檎に使用する「おいしいリンゴ」という商標が挙げられます。つまり、林檎に使用するものとして単純な文字だけで「おいしいリンゴ」と表した商標を出願しても、その商標は林檎の品質を示すために万人に普通に使用される表現であるから、基本的に特許庁は商標登録を認めないのです。

「京フォーム」という商標

「京フォーム」という商標は、わかりやすさのある良い商標であると思えます。他方で、先に述べた「取りにくい商標」に該当するようにも思えます。

しかし、同社は、「京フォーム」という商標を10年以上も前に商標登録出願しており、その商標権を現在も維持されています。特許庁は、発泡体に関する商品分野（第17類）を指定した「京フォーム」という商標登録出願を審査した結果、自分と他人とを区別することができる一定以上の個性を発揮し得る内容であると審査したわけであります。



同社における今後のブランド戦略

「商標戦略」という表現は馴染めませんので、ここでは素直に「ブランド戦略」ということにします。

一般論として、「取りにくい商標」と言われる類の商標は、消費者などに商品やサービスの品質や内容を直ちに理解させやすいというメリットがあります。その一方で、同業他社も、似たような表現を使いやすいというデメリットがあります。このデメリットが表面化するかどうかは、商標権者のブランド戦略に委ねられることになるのかと思います。「取りにくい商標」の商標権者には、自分に属する商標であることを広く他人に理解させるためのさまざまな努力が求められることになります。

これは、「京フォーム」の商標権者である同社においても同様です。同社は、現在、「京フォーム」などの商標を企業イメージ向上に資するものとしてより一層活用し、すでに幾多の信用を積み重ねてきた各商品の商標とともに、相乗的にブランド力を高めるための戦略的な取り組みを進行されています。今後もより一層、三和化工株式会社様のブランド戦略に注目していただきたいと思えます。

内外国特許・商標・意匠・実用新案
赤澤特許事務所
AKAZAWA PATENT AGENCY

所 長・弁理士 赤澤 一博
副所長・弁理士 宮澤 岳志
弁理士 青山 高明

各種手続に要する費用等については、個別に見積書をご提示させていただきます。ご希望の場合は、お申し付けくださいませ。概算価格のご提示も可能です。

見積の例

- 特許、実用新案、意匠、商標に関する各種手続の見積
- 外国への特許、意匠、商標に関する各種手続の見積
- 特許権や商標権の移転登録手続に関する見積
- 先行技術調査(国内調査または外国調査)に関する見積 (その他、ご要望に応じて必要な見積書をご用意いたします。)

アポイントメントは京都本部にお願い申し上げます。速やかに対応いたします。

〔京都本部〕
京都市中京区烏丸通六角上ル
饅頭屋町617 六角ビル6F
TEL:075-223-6206
FAX:075-223-6207

〔東京プランチ〕
東京都港区高輪三丁目16番
8-306

www.tokkyo.ne.jp



押谷フェルト化成株式会社

<http://www.oshitani.co.jp/>



【本 社】

〒104-8131 東京都中央区銀座1丁目20番17号
TEL: 03-3562-1320 (営業部) FAX: 03-3567-2885

■はじめに

押谷フェルト化成株式会社 営業本部 東京営業所 鈴木と申します。

今回、三和化工株式会社様の「京FOAM」に、弊社の会社紹介を掲載する機会をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

弊社は、素材メーカー（三和化工株式会社様含む多数仕入れ先）より材料を仕入れ、お客様のニーズに応じて、自社工場もしくは、外注先で粘着加工などさまざまな加工を行い、お客様にご提供しています。

自社工場としては、国内4拠点（久喜事業所、長浜事業所、静岡事業所、群馬事業所）を有しています。

主に、弱電関連（断熱材、シール材、吸音材、緩衝材、防振材）、他にも鉄道車輛関連、建機関連、住宅関連、スポーツ、レジャー用品関連、医療関連の部品を提供しています。

■商材について

弊社の商材としては、ポリエチレンフォームはもちろんのこと、ウレタンフォーム、ゴムスポンジなど各種発泡体の取り扱いをしています。

海外拠点はタイ、中国にグループ会社があります。生産内容は、タイは自動車、家電向け遮音材（ゴム）、吸音材用フェルトの原材料生産から加工（打抜き、アッセンブリ）までの一貫生産を行なっています。

また、中国においては各発泡体に粘着塗工機で粘着し、各加工を行なっています。

さらに、世界へ提供できるグローバル企業をめざし展開していく計画です。

グローバル化に対応した、国内外における品質コーディネートも実現します。



右：営業本部 東京営業所 高山 浩（次長）
左：鈴木 夕里子

- 開発段階から材料の測定、評価、素材選定に貢献します。
- 使用用途に合わせた物理的実験を自ら行い評価します。
- 海外生産の材料なども、日本基準に適合するか、物理的試験を行い、評価します。

上記のように品質保証試験設備も備わっており、自社で検証可能です。

地球環境の保全に寄与し、安心、安全に使用していただけるよう常に心がけています。

■経営理念

最後に、弊社では「人と人の間（ま）を豊かにする」を経営理念とし、

- ① 地球規模のエネルギーの省力化と環境保全に寄与します。
- ② 「熱、音、空気、水」に関連するあらゆる産業分野に貢献します。
- ③ 時代の先見性を見極めた製品作りに絶えず挑戦します。

上記3点を掲げています。

お客様のニーズに応じて素材を選定し、使用しやすい部品に加工し、高クオリティで高付加価値のある製品を安定して提供し、快適な環境社会に貢献できるよう、今後も心がけていきます。

□会社概要

1951（昭和26）年設立以来、21世紀の今日までの65年以上の歴史の中で、弊社は「間」というものを考え続け、大切に、素材、製品開発のコンセプトとして参りました。

昨今、各分野で省エネ、リサイクル、地球環境の問題がクローズアップされてきておりますが、弊社では早くからこの問題に着目し、「熱、音、空気、水」に関連するあらゆる産業分野に向けて、断熱材、吸音材、緩衝材、防振材、フィルターなど、多くの製品、素材を供給し、地球規模のエネルギーの省力化と環境保全に寄与することを誇りとして参りました。

OSHITANIは「間」を見つめる優しい繊細な感性を磨き続けながら、これからも新しい可能性を追求し、歩み続けます。

「技能実習生」の受け入れ



当社では、2018（平成30）年6月より外国人技能実習制度を活用し、ベトナムから技能実習生の受け入れを始めました。外国人技能実習制度とは、「技能実習法」に基づいた、「開発途上地域等への技能等の移転を図り、その経済発展を担う『人づくり』に協力すること」を目的とした制度です。つまり、高度な日本の技術を習得し、母国で習得した技術を活用、展開していこうというものです。当社においては、福井工場に3名、生野工場に2名を受け入れました。2019年も新たに技能実習生を受け入れることを検討しています。日本語はまだ学習途上で、十分なコミュニケーションはとれませんが、その代わりに彼らは目で見て学び、実際に動いて技術を習得しています。まさに目を見張る成長ぶりです。休日には、日本人の社員と釣りに行き、バーベキューを楽しみ、ときには当社野球部に参加することもあります。

技能実習生というよりも、いまや当社に欠かせない戦力の彼らに、次のステージを準備することも計画しています。それは、2018（平成30）年10月に開業した、SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD.（以下「SKV」）です。日本で学んだ発泡技術などを、SKVの現地ワーカーに指導し、時には日本人駐在員と日本語でコミュニケーションを取り、マネジメントにも参画する——近い将来SKVにおいて、そのような光景が見られるように、努力して参ります。

「広報室」の新設

2019（平成31）年3月、当社の歴史の中で初めて「広報室」を設置しました。その最大の目的は「企業としての正しい情報を幅広く社会へ発信する」ということです。従来の広報活動は、戦略性に欠けていたため、今後、広報室においては「ターゲット（誰に）」と「目的（何を）」を明確にすることにより、発信する媒体、手段などをしっかりと検証した上で、主体的かつ戦略的な広報活動を展開していきたいと考えています。

現在、広報室を含めたプロジェクトメンバーで、当社のホームページの刷新にも取り組んでいます。ビジネス上のパートナーはもちろん、就職活動中の学生、そしてあらゆるステークホルダーの皆様が、当社のホームページをご覧くださいことを期待しています。「三和化工のことをもっと知りたい」、「三和化工とは是非取引をしたい」、「三和化工と一緒に働きたい」と感じていただけるような魅力的なホームページの完成に取り組んでいます。どうぞ公開をお楽しみに！

COLOR POLYMOCK®通信

- 「COLOR POLYMOCK ECサイトのご案内」
2019（令和元）年7月1日（月）よりECサイトを開設し、各種商品をご購入いただけるようになりました。



©healthy 巽陽介



ECサイト

こちらの会場では、カラーポリモック商品の販売もしていただいています。

- 「ちひろさんの子どもたち」
谷川俊太郎×トラフ建築設計事務所
会期：2019年8月2日（金）～10月27日（日）
※休館日：月曜
場所：ちひろ美術館・東京
東京都練馬区下石神井4-7-2
- 「おいでよ！絵本ミュージアム2019」
会期：2019年7月18日（木）～8月18日（日）
場所：福岡アジア美術館 福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル7階

編集後記 — 渡邊 友章（営業本部 広報室）

「京FOAM」vol.5をご愛読いただき、誠にありがとうございます。2019年3月に広報室が新設され、「京FOAM」の編集に携わることになりました。今後は、当社の魅力や皆様のお役に立つ情報を「京FOAM」を通じて発信していきます。今後とも「京FOAM」をよろしく願いたします。

編集メンバー — 新沢 耕一 / 水野 洋平 / 吉田 龍平 / 渡邊 友章